

世界の情勢(ヨーロッパ) II

科目ナンバリング ARS-104
【IV】 選択 2単位

ミシュラン フランク

1. 授業の概要(ねらい)

この授業では「欧州連合の中の仏独関係」を取り上げます。フランスとドイツはヨーロッパの強国で、西洋文明にとって非常に重要な役割を果たして来ましたが、1870年から1945年の間に3回ほど争った歴史があります。しかし、第二次世界大戦後に、両国は様々な努力をして信頼関係を築き、欧州連合(EU)構築に協力して来しました。

21世紀になり、西と東に分裂していたドイツの併合、フランスの経済的衰弱、東欧諸国の欧州連合(EU)への加盟等によって、ドイツがフランスの国力を上回ること、仏独の間に協力が難しくなりました。それが現在の欧州連合(EU)の危機要因だと言っても過言ではありません。

この授業では、欧州連合(EU)の歴史や従来の動向を考えた上で、今後の課題を分析します。進み方は、講義だけでなく、映像等を用い、様々な方法でヨーロッパの特殊性、長所や短所を考察してみます。また、現在の不安定な世界の中で、多くの事件が起こると考えるため、専門家にゲスト・スピーカーとして話いただき、新しい情報に沿って柔軟に授業を進めます。

2. 授業の到達目標

- ① 欧州連合(EU)の特徴を理解し、分析能力を習得する。
- ② ヨーロッパの歴史や現在に関する知識を学び、21世紀の新たな動向を分析し、他者に説明できる。
- ③ 日本をヨーロッパと比較しながら、日本の展望を考察する能力を獲得する。

3. 成績評価の方法および基準

小テスト(LMSにて)60%、期末試験 40%
合格するには下記の条件があるので、ご注意ください。

- ① 期末試験を行う事
- ② 小テストを8回以上受ける事
- ③ 理由なしの欠席は5回以上が無い事(証明書・診断書提出によって欠席を認める)

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は使用しない。

参考文献

宇京 頼三 『仏独関係千年紀: ヨーロッパ建設への道』(2014年) 法政大学出版局

ロベール・フランク 『欧州統合史のダイナミズムーフランスとパートナー国』(2003年) 日本経済評論社

遠藤 乾 『欧州複合危機ー苦悶するEU、揺れる世界ー』(2016) 中央公論新社

5. 準備学習の内容

毎週のテーマについて予め準備学習を参考文献、東アジアに関するニュース等を読んでおく。

講義を行う前に予め使う教材をLMSにアップロードするので、その教材を毎週丁寧に読み、わからないところを文献やインターネットで調べる。

毎回授業が終わった日と翌週の授業の日の間に、前回の授業の教材を読み直す。

6. その他履修上の注意事項

毎週隔週授業の教材を読み、わからないところについてインターネット、文献等を通して調べる。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---|
| 【第1回】 | 講義の紹介
仏独関係の重要性について
対面で行う予定 |
| 【第2回】 | フランスとドイツが決別した日
対面で行う予定 |
| 【第3回】 | 神聖ローマ帝国とフランス王国
対面で行う予定 |
| 【第4回】 | 三十年戦争
対面で行う予定 |
| 【第5回】 | フランス革命、ナポレオンとドイツ民族主義台頭
対面で行う予定 |
| 【第6回】 | 日仏の長い競争
対面で行う予定 |
| 【第7回】 | 第二次世界大戦の傷を乗り越える
対面で行う予定 |
| 【第8回】 | 仏英同盟から仏独同盟へ
対面で行う予定 |
| 【第9回】 | 仏独協力の黄金の時代
対面で行う予定 |
| 【第10回】 | 東ドイツ合併とユーロ導入
対面で行う予定 |
| 【第11回】 | ドイツ覇権の恐れ
対面で行う予定 |
| 【第12回】 | 平衡を失った関係
対面で行う予定 |
| 【第13回】 | 違う方向へ向かう
対面で行う予定 |
| 【第14回】 | テロ、移民、ポピュリズム
遠隔(LMSに音声ファイルを含め教材を掲載)で行う予定 |

【第15回】 まとめ
期末試験
対面で行う予定